

緑のカーテン育て方講習会

開催場所 ①北泉公民館（集会室・館庭）
日 時 令和6年5月15日（水）午後2時～

開催場所 ②共和公民館（集会室・館庭）
日 時 令和6年5月16日（木）午後2時～

内 容

1. 緑のカーテンの育て方講習会
2. コンポストを使用した堆肥の作り方
3. 可動式緑のカーテンの作り方実践講座
4. 琉球朝顔の苗のプレゼント
5. その他



令和4年度 市長賞受賞
令和5年度 団体賞受賞
大同機工株式会社



環境推進課ゼロカーボン推進係

【目次】

目 次2
1. 緑のカーテンの育て方講習会の 目的について3
2. 緑のカーテンの効果について4
3. 緑のカーテンの育て方講習会 について5・6
4. ダンボールコンポストを始めよう 生ごみを資源に7～10
5. ごみ減量のための補助金制度あります11
6. 生ごみ出しません袋で、ごみを減らそう12
7. 琉球朝顔の苗のプレゼントについて13
8. 緑のカーテンコンテスト応募に ついて14
9. 可動式緑のカーテンの作り方 実践講習会	
10. 琉球あさがおの苗の配付	

1. 緑のカーテンの育て方講習会の目的について

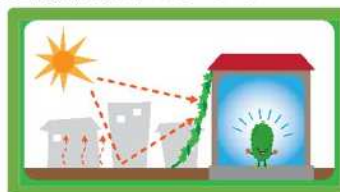
1. 緑のカーテン作りに取り組み、地球温暖化対策の1つとして、身近なところから参加していただく。
2. 興味・関心はあるが、園芸の経験がない初心者や、経験はあるが上手く緑のカーテンに仕立てることができなかった方に、園芸の喜びを体験していただきながら、アドバイスをする。
3. 緑とふれあうことによるストレスの緩和にも有効であることを実感していただく。
4. 花や緑にあふれたまちづくりと、花を通して人とのつながりを作っていた。
5. 希望者に講習会受講後、琉球アサガオの苗をご自宅や事業所等に持ち帰り、緑のカーテンを育てていただく。
6. 育てていただいた緑のカーテンに「緑のカーテンに取り組んでいます」のタグを付けて、生育の様子を写真撮影していただいたものを、「緑のカーテンコンテスト」にご応募いただく。
7. 花ガラや、ツルなどをゴミとして排出するのではなく、コンポストによる生ごみの堆肥化の推奨(リサイクル)。
8. 緑のカーテン終了後、カーテンの葉やツルの処理のやり方や翌年への冬越しのやり方。(リサイクル堆肥へ推奨)

2. 緑のカーテンの効果について

1. 日射の熱エネルギーを約80%もカット！

十分に葉が茂ったグリーンカーテンは、日差し
の熱エネルギーの約80%をカットする遮蔽効果
があります。ちなみに、すだれの遮蔽効果は50～
60%、高性能遮蔽ガラスでも55%程度とされ
ます。

※情報提供：積水ハウス株式会社



2. 葉の蒸散作用で放射熱を抑える。

植物は水を吸い上げ、葉から水分を蒸散させま
す。その時に気化熱を奪うことで葉の温度上昇
が抑えられます。緑のカーテンは日陰を作るだ
けでなく、室内への放射熱も抑えてくれます。

※放射熱とは、物体から物体に
電磁波で伝わる熱の事。



3. 家の周辺の表面温度を抑える。

強い日射しで表面温度が高くなった窓付近の地
面や 壁、エアコンの室外機などから熱が放出さ
れるのも暑さの原因。緑のカーテンで多くの部分
を日射しから遮ることで、放射熱の発生と侵入を
抑えることができます。

3. 緑のカーテンの作り方講習会について

準備するもの

1.プランター

- ・野菜用などの深さがあるプランター（深さ30cm以上推奨）

2.苗

今回は、琉球朝顔を使用します。

琉球アサガオの特徴

- ・宿根草（冬は地上部は枯れてしまうが、春になると自然に芽吹いてくるため、一度植えると数年植えっぱなし可能）
- ・春から霜が降りる晩秋まで咲き続けるため、近年の残暑にも適応できる。
- ・日本朝顔等に比べて、夏の日射しに強い。
- ・葉と花とダブルで楽しめる。
- ・一般的な朝顔は昼過ぎにはしぼんでしまいますが、琉球朝顔は夕方まで花が咲いています。

〔その他、緑のカーテンに向く、つる性植物〕

- ・つる性の食べられる野菜
（ゴーヤ、バタフライピー、ササゲ、キュウリ、ミニトマト、オカワカメ、パッションフルーツ、カボチャ、四角豆、キウイフルーツ等）
例外として、つる性植物ではないがミニトマトでも可
- ・つる性の花を楽しむタイプの植物
（琉球朝顔、日本朝顔、アサリナ、トケイソウ、夕顔、ルコウソウ、ツンベルギア等）
- ・つる性の葉を楽しむタイプの植物
（アイビー、ワイヤープランツ等）
- ・つる性の実を楽しむタイプの植物
（ヘチマ、ヒョウタン、風船カズラ、ホップ、オキナワスズメウリ等）

3.軍手

4.スコップ(ショベル)

5.プランター用培養土(野菜用の培養土等) 地植えの場合(苦土石灰、堆肥、有機肥料等)

6.支柱 高さ200mm～240mm

7.野菜用ネット (180cm ×100cm)マス目10cm

8. 結束バンド 耐候性はある、黒色のものが好ましい。

9.麻紐 ツルを誘引する時に使用。

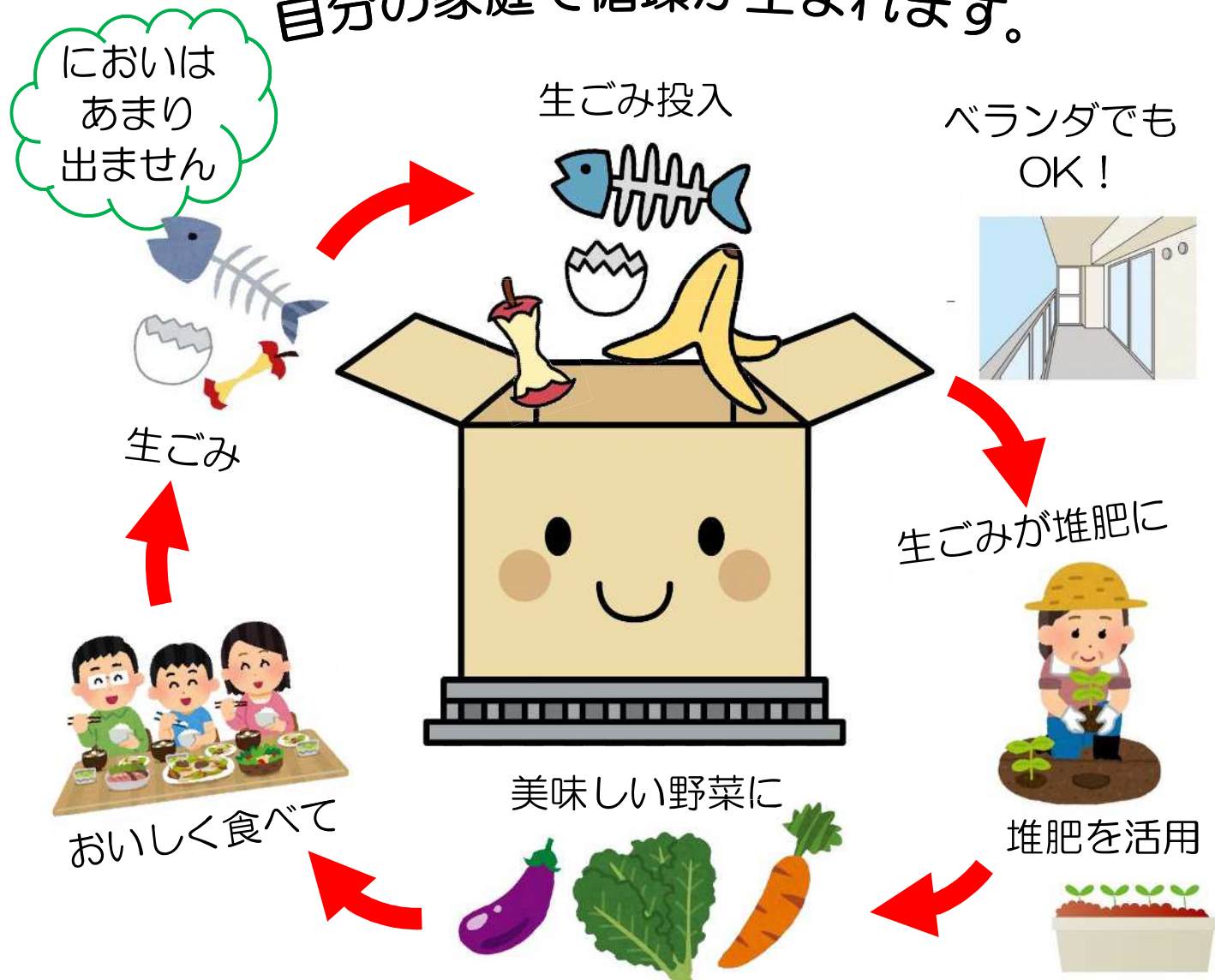
10.ハサミ

11. マルチング素材(今回は腐葉土) ・ガーデンシュレッターで出たウッドチップ ・ココヤシファイバー ・インテリアバーク

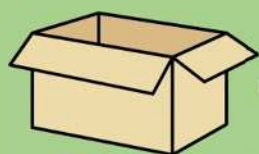
キッチンから捨てないくらしで豊かなくらしを
ダンボールコンポストはじめよう
生ごみを資源に！



自分の家庭で循環が生まれます。



用意するもの



ダンボール箱



二重底用のダンボール



風通しの良い網目状の台



スコップ



基材
(生ごみの分解床)



コンポストキャップ
(虫よけ)

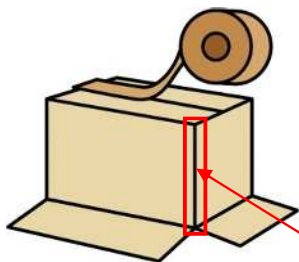


温度計

① ダンボールコンポストを設置しよう

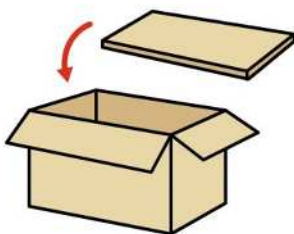
※組み立てには通気性が良いクラフトテープを使います。

① 虫の侵入を防ぐため、クラフトテープでダンボール箱を組み立てます。

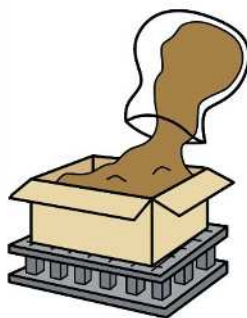


箱の継ぎ目のところもテープでふさぎます。(虫が細い卵管を差し込んで箱の中に産み付けるのを防ぐため)

② 二重底板をしきます。



③ 基材をダンボール箱に移しよくかき混ぜます。



④ 雨が当たらない、出来れば日当たりが良い場所に設置しましょう。(ベランダ・軒下) 風通しの良いコンテナ等の上に置きます。



② 生ごみを投入

生ごみの投入手順

★台所から出る生ごみは貝がら以外OK!
★1日500gくらい(投入量に多い少ないがあってもOK)
★お休みしても大丈夫! また再開しましょう

① 最初は基材の水分を整えるために中央にのみ生ごみを入れる穴を掘る。

※生ごみの量に応じて大きさを変える。

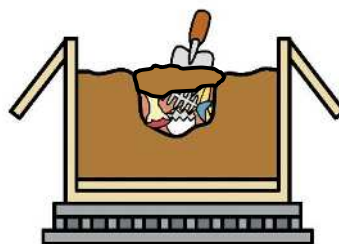


② 穴に生ごみを入れ入れたところを混ぜる。

※全体を混ぜない

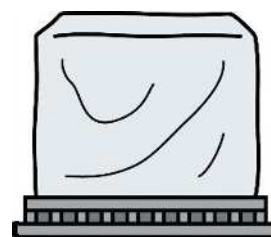


③ 上から基材をかぶせておく。



④ 虫よけキャップをかぶせる。

※箱の下までしっかりかぶせる



3～4 か月繰り返す

水分が60%～70%に保つようにし、分解をスムーズにするために投入日数に準じて、基材の生ごみと混ぜる場所を広げていく。

③ 堆肥にするための仕上げの作業(熟成)

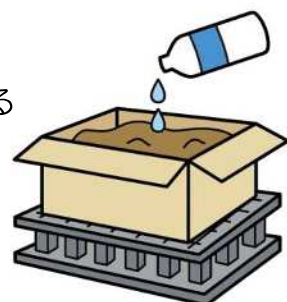
終わりの目安は入れた生ごみの総重量が約50kgくらい。(4人家族で約3か月間) 基材をかき混ぜてもベタベタして水っぽくなり、分解が遅くなって来た時です。堆肥はこの状態ですぐに使うと、土の中で再び分解が始まり、植物の根を痛めてしまうので完熟の堆肥にするため次の熟成を行います。

① 生ごみ投入を止めます。(残っている生ごみを分解させます)

② 週に1～2回はこの中の基材全体をしっかりとる程度の水分状態になるように水を入れ(500～1000mlくらい)、よく混ぜます。

③ 約3週間繰り返し、水を加えても温度の上昇が無くなったらOK!

※この時、卵のカラ・骨・野菜の繊維等が残っていても大丈夫です。



④ 堆肥を利用 でき上った堆肥は、鶏ふん程度の肥料効果あり

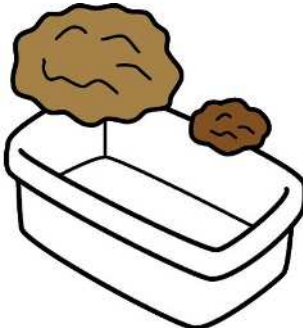
★畑の施肥には1箱で8mくらいの長さの畝に使えます。



施肥には割肥が効果的

うねに溝を掘り、堆肥を入れ土をかぶせる。
混ぜ込んでしまうと雑草の栄養になってしまう。

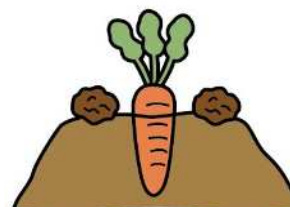
★プランターでは
土3：堆肥1



堆肥の効果

- 団粒構造でふかふかの土に！
- 栄養分の供給
- 保水・保肥力

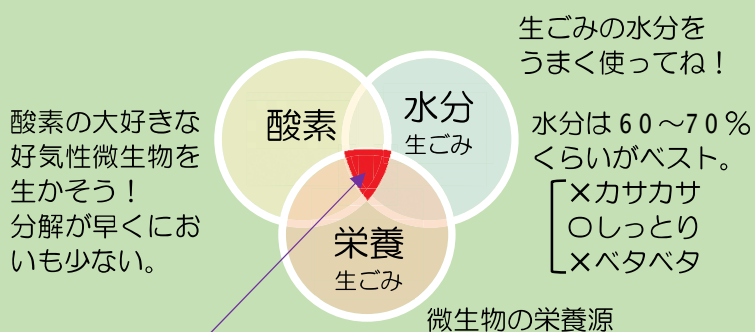
★追肥には置肥で



段ボールコンポストをスムーズに進めるために

Point1 三大要素が大切

微生物が元気に働くために必要です。



3つのバランスが大切！！

Point2 虫の発生を防ぐ

① 予防が一番。

- ✓ 箱の隙間をテーピング
- ✓ 虫よけキャップをかぶせる
- ✓ スコップを箱の中にしまっておく

虫よけキャップはTシャツでも作れます。ハサミで切って縫って仕上げます。



② 箱やキャップに産みつけられた卵を見つけて取る。(陽の当たらない湿った場所に注意)

③ もし、うじ虫を発見したら基材をビニール袋に入れてしっかり空気を抜き、1～2日太陽に当てると駆除できる。その後、基材を箱に戻して再開。

POINT3 ニオイが気になるときは？

<原因は？>

- ・水分過多や酸素不足。
- ・動物性の物を入れると臭いが少し増す。

<対策>

いずれも、よく空気を入れ込み、好気性菌に働いてもらう。(基材を混ぜる)



臭いや寒さも対策をすれば大丈夫です。



PONT4 寒い季節の工夫

- ・新聞紙を基材の上に置く。(保湿と水分吸収)
- ・なるべく風の当たらない場所に置く。
- ・微生物の活動を活発にするためにカロリーの高いもの(糖分・でんぷん・廃油等・魚のアラ等)を入れると、分解が促進されます。



参考文献

「堆肥作りのススメ
～コンポストのある循環生活～」

発行 NPO 法人 循環生活研究所

TEL (092) 405-5217

著者：波多野 信子 たいら 由衣子

さらに

落ち葉や雑草も堆肥にしよう

用意するもの ・設置型コンポスト（130L 程度までのもの）

＜市町村の補助制度があるか確認してください＞

・布カバー ・スコップ（かき混ぜやすいよう小さめの物） ・角材

設置場所

日当たり、水はけのよい場所

設置手順

底部の枠の部分だけを埋めるように溝を掘り、土で固定。中の土を盛り上げておく。

投入手順

- ①落ち葉、雑草と栄養分（米ぬか or 生ごみ）を入れ、60%程度の水分に調整。
- ②かき混ぜ、酸素の補給をする。（繰り返し）
- ③虫よけのカバーをかけ、通気を良くするため、角材を蓋の下に挟む。
- ④ ①～③を繰り返し、容器の8分目程で、かき混ぜにくくなるまで入れ続ける。
- ⑤ 仕上げの作業（熟成）
時々中を良くかき混ぜ、2～3 か月したら出来上がり。

微生物の働きやすい

三要素

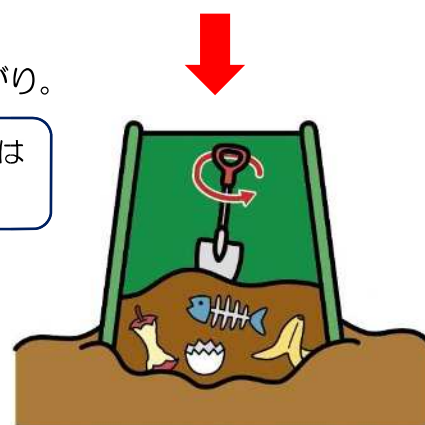
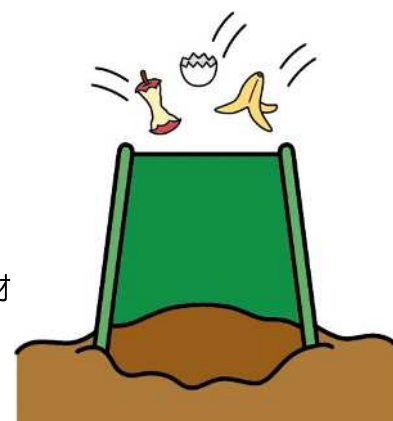
酸素

水分
生ごみ

栄養
生ごみ

3つのバランスが大切！！

カサカサの場合は
水分を入れる



《ダンボールコンポストフォロー体制》

コンポストアドバイザー

花里 政江

連絡先 LINE アカウント（右QRコード）

TEL 090-2407-6168

質問・疑問にお答えします。

※新しいダンボール箱や基材を購入希望の場合もお問い合わせください。

※コンポストアドバイザーはNPO 法人循環生活研究所認定の資格です。

出来た堆肥の使い道がない方は、電話番号にお問い合わせください。





ごみ減量のための 補助金制度 あります！

最大
3万円

対象者

- ①本庄市内に住民登録があり、現に居住している世帯の世帯主。
- ②生ごみからできた堆肥や、破砕した剪定枝等を**自家処理**できる方。
例：家庭菜園で使用する、雑草防止のため庭に撒くなど。ごみとしての処理は対象外です。
- ③生ごみ処理容器等を他人に貸与、譲渡または売却しない方。

補助金額（補助率2分の1）

①生ごみ処理容器	②電動式生ごみ処理機	③剪定枝等破砕機
上限：5,000円 (100円未満の端数は切り捨て)	上限：30,000円 (1,000円未満の端数は切り捨て)	上限：30,000円 (1,000円未満の端数は切り捨て)
 2基まで	 1基まで	 1基まで

注意事項

- ①予算額に達し次第受付は終了するため、残りの予算等について事前にご相談ください。
- ②申請できる対象機器は、購入日から3か月以内のものです。

申請に関する詳細は
ホームページまたは
環境推進課まで！

申請方法
添付書類
申請書ダウンロード



QRコード

ご自宅で手軽に始められる
ダンボールコンポストも紹介中！

材料、作り方、使い方など…
わかりやすい
動画 も載せています！



QRコード

問い合わせ先：本庄市環境推進課 環境衛生係（0495-25-1172）

生ごみの自家処理を推進するための取り組み

生ごみ処理容器等設置費補助金

★環境推進課 ☎ 25-1172

コンポストや電動式生ごみ処理機の購入費用に
対し、最大3万円の補助金を交付しています。

【利用者の声】

・補助金が購入の後押しになりました。現在、いろいろな種類の生ごみ処理機器が販売されているので、各家庭の生活スタイルに合うものが見つかると思います。

・紙類はリサイクル、個包装商品は購入を避けるなど、ごみの減量に取り組んでいますが、どうしても減らせなかったのが生ごみでした。生ごみ処理機の導入で生ごみ出しが2週間に1回になり、大変満足しています。



市HP

ダンボールコンポスト講習会

★環境推進課 ☎ 25-1172

年に2～3回実施している講習会では、自宅ですぐに始められるダンボールコンポストセットを無料で配付、作り方やアドバイス等も市HPで紹介しています。



市HP



(ハッシュタグ) を付けて情報を発信・共有しよう！

「生ごみ出しません袋」のデザインは、市内の高校に通う高校生たちが、市のごみ問題について多くの方に関心をもってもらうために考えたものです。

その中のキャッチフレーズ、「#そのごみ重くね？」をタグ付けし、家庭で実践している取組やちょっとした工夫をSNS等で発信・共有してみませんか。



で発信！

こちらは、広報ほんじょう 令和6年2月1日号の記事です。

問い合わせ先：環境推進課（0495-25-1172）



★環境推進課 ☎ 25-1172

1人1日当たりごみ排出量（家庭＋事業所）

本庄市は、県内ワースト1位

※県平均から3割程度排出量が多い。

特に水分を含む「生ごみ」は、家庭から出される可燃ごみの約3割を占めていて、ご家庭でのごみ出しから焼却処理までにたくさんさんの問題を引き起こす「困りもの」です。



そこで、生ごみの排出削減を目指し、生ごみを出さないと言った世帯に、

特別なごみ袋「生ごみ出しません袋」を無料で交付します。

対象	生ごみを堆肥化するなどして自家処理し、ごみの減量に取り組む世帯	交付枚数	ひと月当たり10枚（1枚当たりの容量15リットル）
使用条件	①入れられるのは、生ごみ以外の可燃ごみです ②交付した袋を使い切るまでは、原則として児玉郡市共通認定袋（燃えるごみ用）は使用できません		
申込	環境推進課・支所環境産業課に宣言書を提出すると、その場で生ごみ出しません袋を交付します		

7. 琉球朝顔の苗のプレゼントについて

- ・講習会参加者

市内在住の方 1人 3ポット

市内団体・事業者は1団体5株まで

- ・苗の種類 琉球朝顔(宿根草)

花の色 ①白

②ピンク (もみじ葉)

③紫➡赤紫へ変化

8. 緑のカーテンコンテスト応募についてのお願い

市では、地球温暖化対策と身近なSDGsへの取組として「緑のカーテンコンテスト」を平成25年から開催しています。

今年度で12年目になります。

今日の講習会で学んだことを活かして、ご自宅、事業所等で育てた「緑のカーテン」の成果をぜひご応募ください。

成長してきた「緑のカーテン」に、配付します「緑のカーテンに取り組んでいます」のプレートを付けてください。

プレートを付けた「緑のカーテン」のお写真を撮影いただき、「緑のカーテンコンテスト」へのご応募をお願いします。

お写真の撮影が難しい方は、ご連絡ください。ご都合の良い日に撮影に伺います。

また、生育途中で悩んだこと等あれば、お気軽にご相談ください。



問合せ先
本庄市役所環境推進課
ゼロカーボン推進係
担当 山本
☎0495-25-1249